

川田テクノロジー株式会社(3443)

2024年3月期

決算説明会

2024年5月20日 15:00～

おかげさまで川田グループは
2022年5月に創業100周年を迎えました。

過去も、現在も、これからも
川田グループは「いつの時代にも技術をもって社会に貢献すること」を使命とし、
さらなる「安心で快適な生活環境の創造」を進めてまいります。



1. 2024年3月期の業績
2. 2025年3月期の業績見通し
3. 第3次中期経営計画の数値目標の一部見直し・進捗ほか

1. 2024年3月期の業績

2024年3月期 決算のポイント

期を通じて大型物件を中心に手持工事が順調に進捗し、売上高増加
また、特に鉄構セグメント・土木セグメントでの設計変更獲得に加え、
採算性の高いソリューションセグメントも成長継続で各段階利益を押し上げた

(単位：百万円)

	2023年3月期		直近業績予想 ※		2024年3月期		増減(率)	
	実績	売上比	金額	売上比	実績	売上比	対前期	対直近予想
売上高	118,086	100.0%	128,000	100.0%	129,127	100.0%	11,041 (9.3%)	1,127 (0.9%)
売上総利益	15,626	13.2%	-	-	20,098	15.6%	4,472 (28.6%)	-
営業利益	5,025	4.3%	7,800	6.1%	8,734	6.8%	3,709 (73.8%)	934 (12.0%)
経常利益	6,298	5.3%	9,500	7.4%	10,538	8.2%	4,240 (67.3%)	1,038 (10.9%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,231	3.6%	6,500	5.1%	7,541	5.8%	3,310 (78.2%)	1,041 (16.0%)
1株当たり 当期純利益	239.94円	-	378.04円	-	434.06円	-	194.12円	56.02円
減価償却費	2,874	-	-	-	2,903	-	29	-
有形／無形固定資産の増加額	4,087	-	-	-	3,892	-	△195	-

※ 2024/3/12付け業績予想（うち、1株当期純利益は2024/4/1付株式分割が前期首に行われたとの仮定によります）

2024年3月期 現行中計数値目標の進捗状況

前期は現行の中期経営計画（第3次、2023/4～2026/3の3か年）の初年度
計画比大幅増益で数値目標が大きく進捗したため、目標数値の一部を上方修正へ
※修正内容はp16以降をご覧ください

（単位：百万円）

	2023年3月期	2024年3月期 (中計初年度)	増減(率)	第3次中計	
				【当初】数値目標	対当初進捗率
売上高	118,086	129,127	11,041 (9.3%)	3,910億円以上 (3か年累計)	33.0%
営業利益	5,025	8,734	3,709 (73.8%)	186億円以上 (3か年累計)	46.8%
当期純利益 ①	4,231	7,541	3,310 (78.2%)	156億円以上 (3か年累計)	48.1%
当期純利益 ② (持分法投資損益除く)	2,852	5,818	2,966 (104.0%)	121億円以上 (3か年累計)	47.9%
ROE ①	5.8%	9.6%	3.8ポイント	8.0%以上 (最終年度)	-
ROE ② (持分法見合い除く)	7.3%	13.8%	6.5ポイント	11.0%以上 (最終年度)	-

想定以上に
進捗のため、
目標見直し

利益積上げにより純資産増加、自己資本比率が50%台に到達
売上債権回収が進み営業CFはプラスに転じ、運転資金見合いの短期借入を一旦返済
受注は前期からの繰越、期中受注・販売ともに増加、次期繰越水準も高い水準を維持

◎財政状態・CF状況

(単位：百万円)

	2023年3月期	2024年3月期	増減(率)
総 資 産	162,158	160,216	△1,941 (△1.2%)
純 資 産	76,697	82,341	5,644 (7.4%)
自己資本比率	46.6%	51.1%	4.5ポイント
1株当たり純資産 ※	4,288.11円	4,753.28円	465.17円
営 業 C F	△9,673	13,320	22,994
投 資 C F	△1,504	△2,553	△1,048
財 務 C F	12,213	△10,337	△22,845

◎受注状況

(単位：百万円)

	2023年3月期	2024年3月期	増減(率)
前 期 繰 越	146,334	154,364	8,030 (5.5%)
期 中 受 注	127,657	131,241	3,584 (2.8%)
期 中 販 売	119,626	130,876	11,249 (9.4%)
次 期 繰 越	154,364	154,730	365 (0.2%)

※セグメント間の取引は相殺消去しておりません

※ 2024/4/1付株式分割が前期首に行われたとの仮定によります

鉄 構

鋼製橋梁および建築鉄骨の設計・製作・架設据付、鋼材製品の販売



東京ゲートブリッジ（東京都）

土 木

PC橋梁、プレベーム橋梁の設計・製作・架設据付および橋梁保全工事請負



不動大橋（群馬県）

建 築

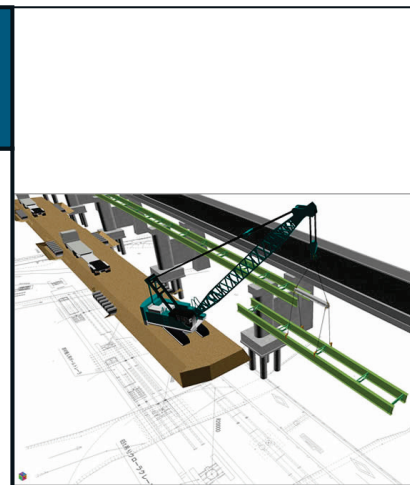
一般建築およびシステム建築の設計・工事請負



ポラテック西日本(株)滋賀工場（滋賀県）

ソリューション

- ①ソフトウェアの開発・販売およびシステム機器の 販売、橋梁等の構造解析および設計・製図
- ②各種機械装置、コンピューターシステムの開発・設計・販売およびコンサルティング
- ③次世代型産業用ロボット等の製造および販売



建設系3D CAD
V-nasClair



NEXTAGE

各セグメント 2024年3月期 概況

7 / 22

鉄構、土木セグメントで大型設計変更獲得、建築は採算性改善、ソリューションは成長基調継続

鉄構

鋼橋事業：大型新設工事が順調に進捗、大型工事で想定以上の設計変更を獲得
鉄骨事業：首都圏再開発、九州地区半導体関連施設の受注も、売上は前期に届かず
→売上高 61,519百万円（+5,448百万円 +9.7%） 営業利益 4,648百万円（+551百万円 +13.5%）

土木

新設・保全事業で堅調な受注も、更新事業は年度を通じ低調、前期比大幅減
手持工事が順調に進捗し売上は前期比微増、更新・保全事業で大型工事の設計変更獲得により増益
→売上高 35,432百万円（+396百万円 +1.1%） 営業利益 2,891百万円（+824百万円 +39.9%）

建築

多層階物流倉庫、システム建築による低層倉庫の受注ともに堅調
手持工事の順調な進捗が売上に寄与、物件の採算性も改善し営業利益も前期比大幅改善
→売上高 17,601百万円（+3,442百万円 +24.3%） 営業利益 1,574百万円（+1,997百万円）

ソリ

3次元CADソフト、情報共有クラウドサービスともに好調、ロボットも販売台数伸ばす
→売上高 7,550百万円（+1,178百万円 +18.5%） 営業利益 2,919百万円（+871百万円 +42.6%）

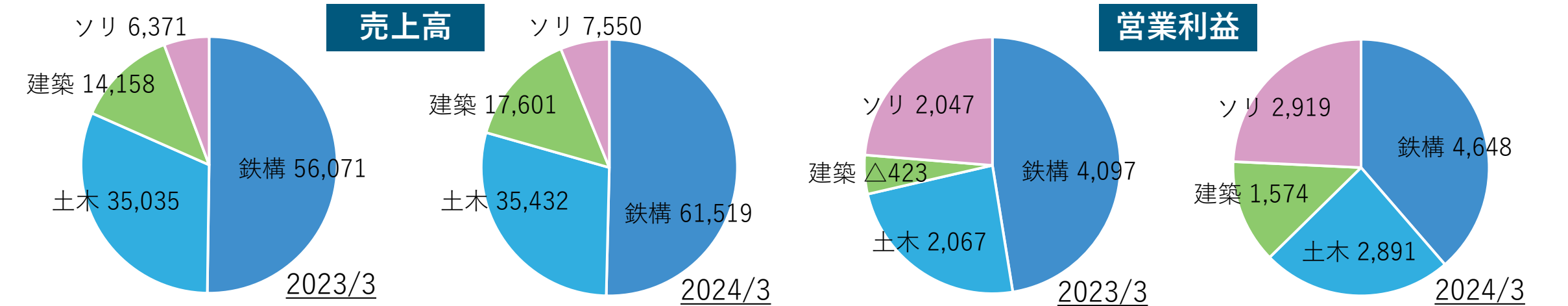
※セグメント間の取引は相殺消去しておりません

2024年3月期 セグメント別 P/Lサマリー

全てのセグメントで売上・営業利益ともに前期比増。ソリューションは高い採算性

(単位：百万円)

	2023年3月期			2024年3月期			増減(率)		
	売上高	営業利益	営利率	売上高	営業利益	営利率	売上高	営業利益	営利率
■ 鉄 構	56,071	4,097	7.3%	61,519	4,648	7.6%	5,448 (9.7%)	551 (13.5%)	0.3ポイント
■ 土 木	35,035	2,067	5.9%	35,432	2,891	8.2%	396 (1.1%)	824 (39.9%)	2.3ポイント
■ 建 築	14,158	△423	-	17,601	1,574	8.9%	3,442 (24.3%)	1,997 (-)	-
■ ソ リ ュ ー シ ョ ン	6,371	2,047	32.1%	7,550	2,919	38.7%	1,178 (18.5%)	871 (42.6%)	6.6ポイント



※セグメント間の取引は相殺消去しておりません

2024年3月期 セグメント別 受注状況

土木セグメントは前期受注が低調。PC床版取替市場は潜在的に大きいが短期的には縮小トレンド。他セグメントは順調に受注を伸ばし、特に近年低迷していた建築は大幅回復し、次期への繰越は前期比増加し、過去最高の水準

(単位：百万円)

	前期からの繰越			期中受注			期中販売			次期への繰越		
	2023/3	2024/3 (当期)	増減(率)	2023/3	2024/3 (当期)	増減(率)	2023/3	2024/3 (当期)	増減(率)	2023/3	2024/3 (当期)	増減(率)
鉄 構	77,869	84,990	7,120 (9.1%)	63,192	64,091	898 (1.4%)	56,071	61,519	5,448 (9.7%)	84,990	87,561	2,571 (3.0%)
土 木	47,256	49,100	1,843 (3.9%)	36,879	31,516	△5,362 (△14.5%)	35,035	35,432	396 (1.1%)	49,100	45,184	△3,915 (△8.0%)
建 築	17,965	16,526	△1,439 (△8.0%)	12,719	18,936	6,217 (48.9%)	14,158	17,601	3,442 (24.3%)	16,526	17,862	1,335 (8.1%)
ソ リ	2,734	3,355	621 (22.7%)	6,992	7,692	699 (10.0%)	6,371	7,550	1,178 (18.5%)	3,355	3,498	142 (4.2%)

※セグメント間の取引は相殺消去しておりません

2. 2025年3月期 業績の見通し

2025年3月期 業績見込み（全体）

売上高は前期同水準を見込むも、利益全体の30～40%を占める鉄構セグメントで
期中の大型工事の竣工が少なく設計変更獲得予定時期が翌期以降となる見通し。
結果、「原価先行」となる当期は営業利益以下はいずれも減少を見込む

（単位：百万円）

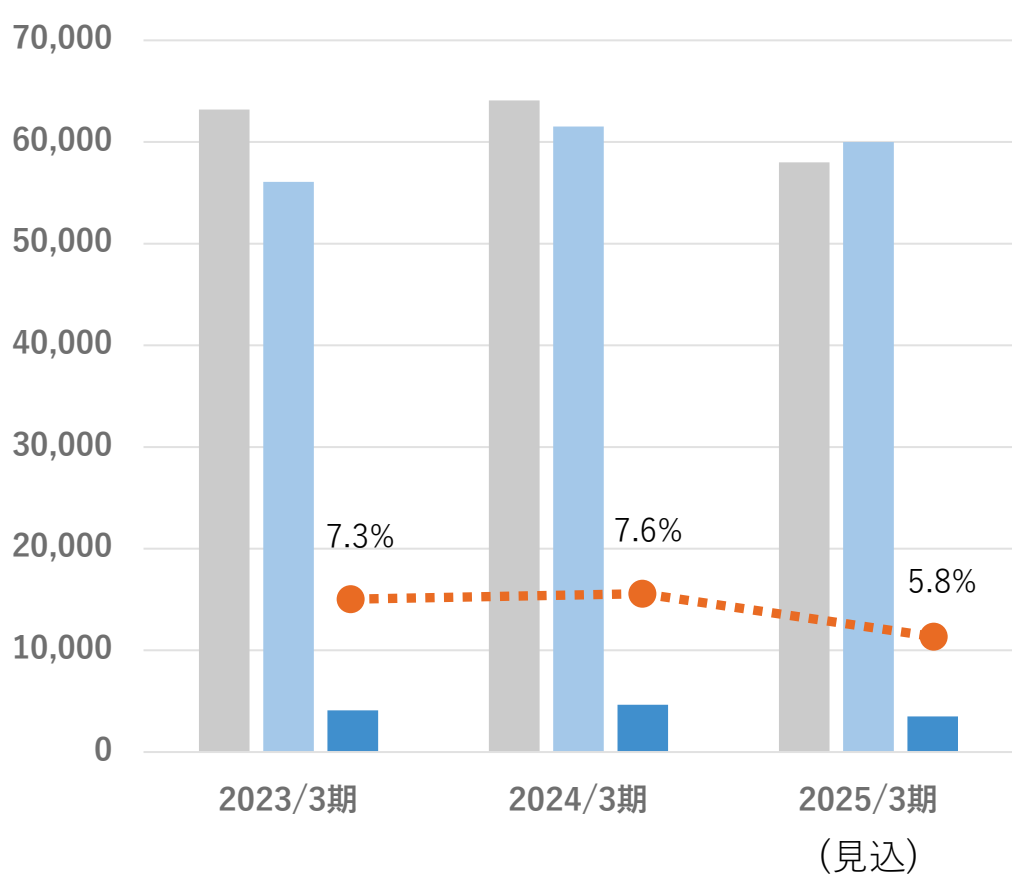
	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期 （見込）	増減額(率)	
				23年-24年	24年-25年
売 上 高	118,086	129,127	128,000	11,041 (9.3%)	△1,127 (△0.9%)
営 業 利 益	5,025	8,734	5,800	3,709 (73.8%)	△2,934 (△33.6%)
経 常 利 益	6,298	10,538	6,000	4,240 (67.3%)	△4,538 (△43.1%)
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	4,231	7,541	4,100	3,310 (78.2%)	△3,411 (△45.6%)
1 株 当 た り 当 期 純 利 益 ※	239.94円	434.06円	238.02円	194.12円	△196.04円

※ 2024/4/1付株式分割が表示期間期首に行われたとの仮定によります

2025年3月期 業績見込み ①鉄構セグメント

鋼橋事業：新設市場は中長期的に減少傾向も、当面は更新・保全市場が堅調な見通し
鉄骨事業：首都圏再開発、大阪IR、九州半導体関連施設などで大型鉄骨市場は堅調
大型物件の製作本格化で工場操業度高い。物価高、働き方改革等背景に原価・工程管理が一層重要

(単位：百万円)



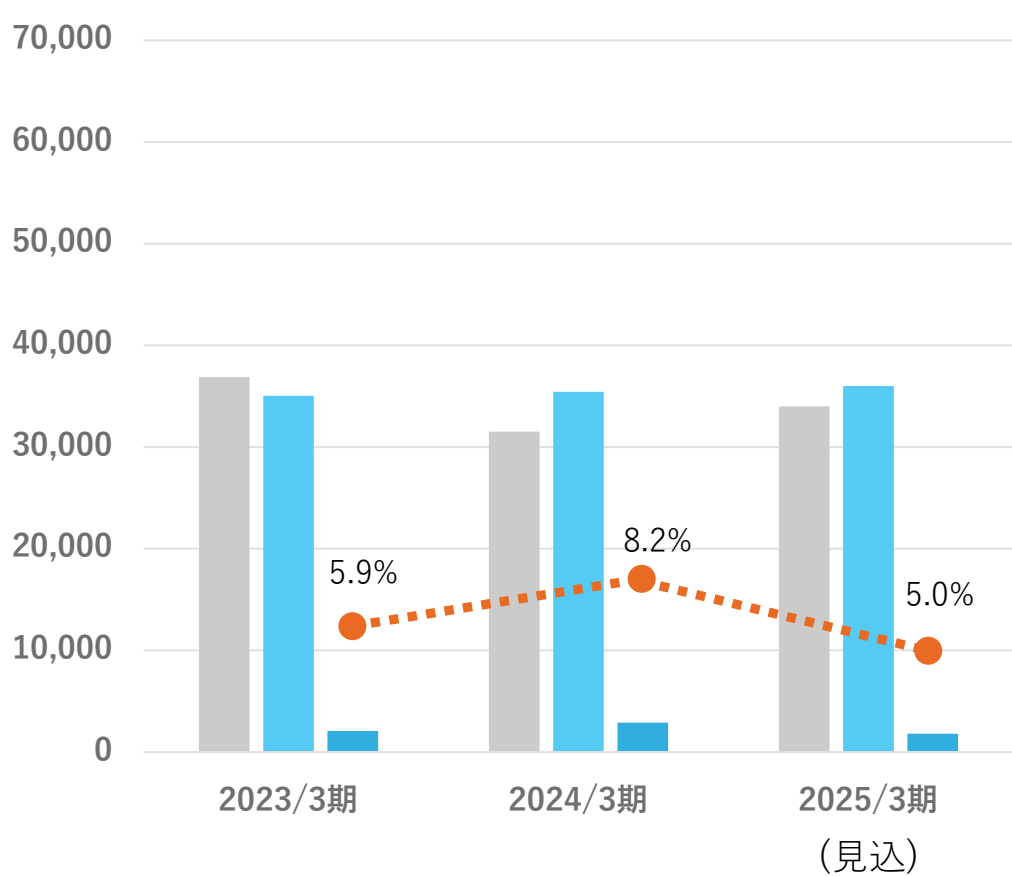
※セグメント間の取引は相殺消去しておりません

	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期 (見込)	増減(率)	
				23-24年	24-25年
受 注 高	63,192	64,091	58,000	898 (1.4%)	△6,091 (△9.5%)
売 上 高	56,071	61,519	60,000	5,448 (9.7%)	△1,519 (△2.5%)
営業利益	4,097	4,648	3,500	551 (13.5%)	△1,148 (△24.7%)
営業利益率	7.3%	7.6%	5.8%	0.3ポイン ント	△1.8ポイン ント

2025年3月期 業績見込み ②土木セグメント

新設から更新・保全への市場シフトが顕著。前期は更新市場で発注減少も、潜在的には依然大きな市場。業界再編の兆しもあり競争環境も一層厳しさを増す。新設・保全事業で受注量を一定程度カバー。特に新設は国交省案件で受注積み上げ

(単位：百万円)



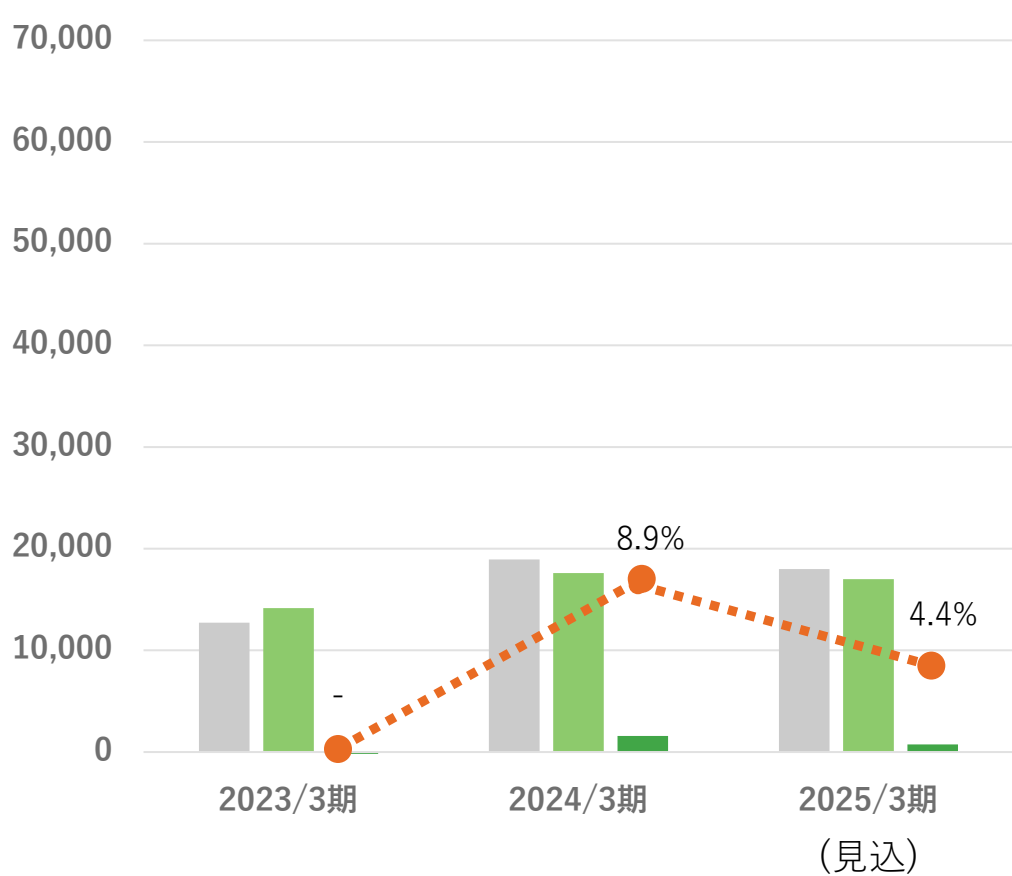
※セグメント間の取引は相殺消去しておりません

	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期 (見込)	増減(率)	
				23-24年	24-25年
受 注 高	36,879	31,516	34,000	△5,362 (△14.5%)	2,484 (7.9%)
売 上 高	35,035	35,432	36,000	396 (1.1%)	568 (1.6%)
営業利益	2,067	2,891	1,800	824 (39.9%)	△1,091 (△37.7%)
営業利益率	5.9%	8.2%	5.0%	2.3ポイ ント	△3.2ポイ ント

2025年3月期 業績見込み ③建築セグメント

2024年度問題などを背景に、物流倉庫の引き合いは引き続き好調
得意は平屋・二階建て物件だが、大型多層階物件にも積極的にチャレンジ
前々期の反動で前期は大幅増益も、当期は建設コスト高など不透明要素多く減益見通し

(単位：百万円)



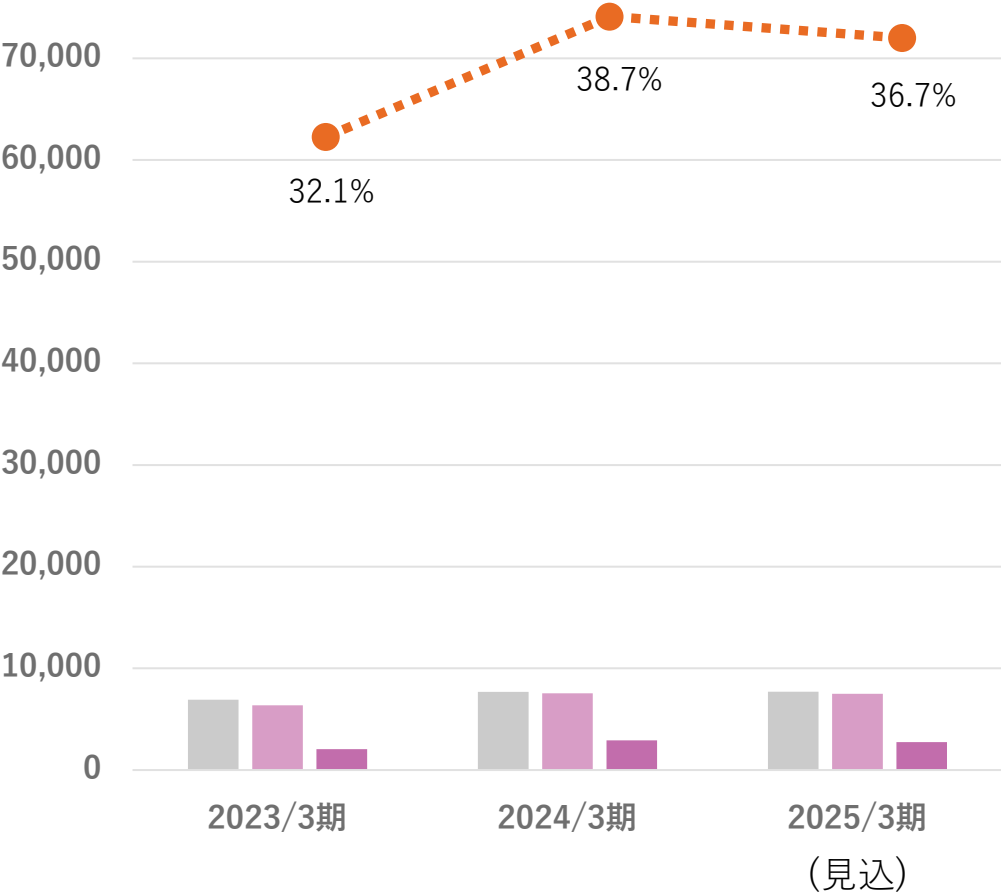
	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期 (見込)	増減(率)	
				23-24年	24-25年
受 注 高	12,719	18,936	18,000	6,217 (+48.9%)	△936 (△4.9%)
売 上 高	14,158	17,601	17,000	3,442 (24.3%)	△601 (△3.4%)
営業利益	△423	1,574	750	1,997 (-)	△824 (△52.4%)
営業利益率	-	8.9%	4.4%	-	△4.5ポ イ ン ト

※セグメント間の取引は相殺消去しておりません

ソフトウェア関連事業：建設DX推進を背景に引き続き好調な3次元CADソフト販売に加え、情報共有クラウドサービスも。商品販売だけでなく、業務ソリューション提供も拡大

ロボット関連事業：国内生産回帰や労働人口減少による自動化・省人化需要で市場は拡大基調。潜在市場は大きい。ヒューマノイド開発も世界で活性化。販売台数目標に届かずも前期比増加。新規代理店獲得で拡販狙う

(単位：百万円)



※セグメント間の取引は相殺消去しておりません

	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期 (見込)	増減(率)	
				23-24年	24-25年
受 注 高	6,922	7,692	7,700	699 (10.0%)	8 (+0.1%)
売 上 高	6,371	7,550	7,500	1,178 (18.5%)	△50 (△0.7%)
営業利益	2,047	2,919	2,750	871 (42.6%)	△169 (△5.8%)
営業利益率	32.1%	38.7%	36.7%	6.6ポイ ント	△2.0ポイ ント

3. 第3次中期経営計画数値目標の一部見直し・進捗ほか

位置付け	KAWADA VISIONの実現に向けて、川田グループの持続的な成長と持続可能な社会の実現の両立を目指していく。事業環境が大きく変化する中、真摯に経営課題と向き合い、迅速かつ柔軟に解決することで、レジリエント企業を目指す		
経営課題	資本コストを意識し、 ①ROE向上を目指した経営を推進するとともに、それを支える ②経営基盤の強化を図る	①ROE向上	基幹事業における収益力強化、成長事業における事業規模拡大、資本効率を重視した経営にシフト
		②経営基盤強化	人材確保・人材育成とDXによる生産性向上、IPランドスケープの推進、持続可能な社会の実現に向けたサステナブル経営の推進

<テーマ>『KAWADA VISION』の実現を目指し、レジリエント企業に変貌する			
基本方針	基幹事業の持続的成長	100年かけて培ってきた技術を軸に、ビックプロジェクトに参画するとともに、拡大している橋梁の保全・補修市場への対応強化	
	成長事業の拡大・創出	成長が見込まれる事業分野に経営資源を投入するとともに、「川田ならではの」価値創造により新規事業を創出	
	サステナビリティ経営の推進	グループ理念である「安心して快適な生活環境の創造」のもと社会課題の解決を起点とした責任ある企業経営を貫き中長期的な企業価値の向上	
	資本効率経営への転換	ROE経営を推し進めるとともに、「八方よし」の精神での企業経営を継続	

数値目標の一部変更（上方修正）

18 / 22

	第1次中期経営計画 (実績)	第2次中期経営計画 (実績)	第3次中期経営計画 (当初)	第3次(修正後)
売上高 (3か年累計)	3,526億円	3,373億円	3,910億円以上	3,910億円以上
営業利益 (3か年累計)	172億円	170億円	186億円以上	223億円以上
当期純利益① (3か年累計)	165億円	157億円	156億円以上	183億円以上
当期純利益② (3か年累計、持分法投資損益除く)	109億円	109億円	121億円以上	146億円以上
ROE① (最終年度)	11.3%	5.8%	8.0%以上	8.0%以上
ROE② (3か年累計、関係会社株式見合い除く)	15.8%	7.3%	11.0%以上	11.0%以上
株主還元 (3か年平均)	8.5%	16.0%	30.0%目途	30.0%目途

数値目標の一部修正と各年度進捗率

初年度実績、次年度見通しを踏まえ、数値目標の一部を上方修正
現時点で「売上高」「ROE①」は未達見込みだが、今後の受注や設計変更などで達成を目指す

(単位：億円)

	当初 目標	修正 目標	増減 (率)	進捗								
				2024年3月期(1年目)			2025年3月期(2年目)			2026年3月期(3年目)		
				実績	対当初	対修正	見込	対当初	対修正	見込	対当初	対修正
売上高	3,910	3,910	-	1,291	33.0%	33.0%	1,280	65.8%	65.8%	1,320	99.5%	99.5%
営業利益	186	223	37 (19.9%)	87	46.8%	39.0%	58	78.0%	65.0%	78	119.9%	100.0%
当期純利益①	156	183	27 (17.3%)	75	48.1%	41.0%	41	74.4%	63.4%	67	117.3%	100.0%
当期純利益②	121	146	25	58	47.9%	39.7%	34	76.0%	63.0%	54	120.7%	100.0%
ROE ①	8.0%	8.0%	-	9.6%	-	-	5.0%	-	-	7.8%	-	-
ROE ②	11.0%	11.0%	-	13.8%	-	-	7.7%	-	-	11.2%	-	-
配当性向	30.0%	30.0%	-	30.2%	-	-	37.8%	-	-	30.0%	-	-

※売上高・営業利益・当期純利益は3か年累計、ROEは最終年度、配当性向は3か年平均によります
「①」は全体、「②」は持分法投資損益および関係会社株式相当額を除く計算によります

株主還元 年間配当額の下限設定と配当見通し

20 / 22

現行中計期間（2023/4～2026/3の3か年）において、安定的な配当還元・機動的な自己株式取得により「配当性向30%目途、配当総額46億円程度」を目指すなか、
初年度は配当約22.5億、自己株式取得約10億実施。以降も利益積み増しにより総額増を目指す
また、配当方針変更により、現行中計残期間について年間配当額の下限を90円とする

現行中計 残期間					年間配当額の下限設定 (現行中計残期間)
	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期 (当期・見込)	2026年3月期 (見込)	
当期純利益	4,231百万円	7,541百万円	4,100百万円	6,700百万円	
1株当たり 当期純利益 ※1	239.94円	434.06円	238.02円	388.95円	
1株当たり配当額 ※1 ※2	70円	131円	72円→90円 (下限による)	117円	
配当性向 ※3	29.2%	30.2%	37.8%	30.1%	
配当総額	1,234百万円	2,256百万円	1,550百万円 ※4	2,015百万円 ※4	配当方針を変更： 第3次中計期間の残り期間 (2024年度～2025年度)に かかる1株当たり配当金の 下限を年間90円

※1 表示期間期首に株式分割が行われたとの仮定により、2025年3月期・2026年3月期株式数は2024年3月期末数(自己株式を除く)によります

※2 2025年3月期以降は、1株当期純利益見込額に目標配当性向30.0%を乗じた額と下限90円のいずれか大きい方によります

※3 1株当たり配当額÷1株当たり当期純利益によります ※4 1株配当額×2024年3月期末(自己株式を除く))によります

中計資本政策の進捗状況、その他の取り組み

21 / 22

◎中計資本政策の進捗

	現行中計	初年度実績
利益水準の向上	営業キャッシュフロー創出 3年間で200億円 ※但し、事業にかかわる資金の動きは除外	108億円 ※事業にかかわる資金の動きを 除外しているため、C/Sの値とは異なります
成長投資	基幹事業の更なる強化、成長事業への投資 設備投資100億円	38億円
株主との対話	株主総会、株主通信、 決算説明会、1-on-1 MTG	株主総会1回、株主通信2回、 決算説明会2回、 1-on-1 MTG 84回（ほかSMTG3回）

◎その他の取り組み

株式分割（1：3）	2024年3月31を基準日、同4月1日を効力発生日に、普通株式を1：3の割合で分割
川田テクノシステム 100%子会社化	2024年3月29日付で100%子会社化

ご説明は以上です
ご清聴ありがとうございました

(Appendix) 過去5年間の主な業績指標

(単位：百万円)

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
売上高	127,048	115,545	103,760	118,086	129,127
営業利益	6,759	5,565	6,412	5,025	8,734
経常利益	8,543	8,048	7,689	6,298	10,538
親会社株主に帰属する当期純利益	6,449	6,340	5,176	4,231	7,541
1株当たり当期純利益(円) ※	366.23	359.10	292.54	239.94	434.06
自己資本当期純利益率(%)	11.3	10.1	7.6	5.8	9.6
総資産経常利益率(%)	6.4	5.6	5.5	4.3	6.5
売上高営業利益率(%)	5.3	4.8	6.2	4.3	6.8
総資産	139,093	147,408	133,337	162,158	160,216
純資産	60,630	66,964	71,921	76,697	82,341
自己資本比率(%)	43.0	44.8	53.2	46.6	51.1
1株当たり純資産(円) ※	3,395.07	3,740.50	4,009.61	4,288.11	4,753.28
営業活動によるキャッシュフロー	△4,126	△2,547	20,391	△9,673	13,320
投資活動によるキャッシュフロー	△2,764	△4,183	△1,948	△1,504	△2,553
財務活動によるキャッシュフロー	5,535	8,220	△15,811	12,213	△10,337
1株あたり年間配当金(円) ※	26.67円	26.67円	33.33円 (うち記念配当6.67円)	70円	131円

※ 2024/4/1株式分割が表示期間期首に行われたものと仮定によります

本資料に記載される業界、市場動向または経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、当社がその真実性、正確性、合理性について保証するものではありません。また、本資料に記載される当社グループの計画、見積、予測、予想その他の将来情報については、現時点における当社の判断または考えにすぎず、実際の当社グループの経営成績、財政状態その他の結果は、経済情勢、業界の市場動向、原材料価格の変動等により、本資料記載の内容またはそこから推測される内容と大きく異なることがあります。

＜お問合せ先＞

川田テクノロジーズ株式会社 経営管理部
ir.kti@kawada.jp

